

2012/05/30

NMR学会学会誌「NMR」への投稿をお願いいたします。

学会誌編集委員長 内藤 晶

NMR学会学会誌「NMR」は鈴木前副会長のご尽力で、2009年にVol. 1, 2010年にVol. 2が発行され、学会誌は第1歩を踏み出しました。Vol. 3では学会誌を会員サービスの向上の観点から、さらに内容の充実を図ることを今年度の編集委員会の活動目標にしています。このため、今年度は学会誌編集委員会メンバーも増員し、学会誌投稿規程を明記することにしました。また会員の皆様からの投稿を受け付けますので、奮ってご寄稿いただくようお願いいたします。

学会誌編集委員（2012, 2013年度）

編集委員長	内藤 晶	横浜国大院工
副編集委員長	池上 貴久	阪大蛋白研
	河合剛太	千葉工大
編集委員	鈴木榮一郎	味の素
	出村 誠	北大院先端生命科学研
	浅野 敦志	防衛大応用化学
	松森 信明	阪大院理
	鳥澤 拓也	中外製薬
	川村 出	横浜国大院工
	中澤 靖元	東京農工大科学博物館
	上田 卓見	東大院薬
	五十嵐 俊介	味の素
	菅瀬 謙治	サントリー生有研

学会誌「NMR」投稿規程

日本核磁気共鳴学会 機関誌 「NMR」は主にNMRに関する情報を公開し、会員の皆様の学術交流を目的とした会員サービスを提供します。本学会の会員の皆様から原稿の種類で記した欄に奮ってご寄稿いただくようお願いいたします。ただし、一般投稿原稿の採択の可否は編集委員の査読結果をもとに編集委員会で決定します。なお掲載された著作物の著作権は本学会に帰属するものとします。依頼原稿に関しては編集委員会での承認を経て会員以外の方に依頼することもあります。

執筆原稿は以下の原稿のフォーマットを参照してワープロで作成し、本文・図・表を含むファイルを下記編集委員長までメールで投稿してください。図や表を他の文献から引用して使用する場合には投稿前に著作権所有者から許可を得てください。図も含めた依頼原稿については担当編集委員にメール添付にて提出してください。

学会誌編集委員長 内藤 晶 naito@ynu.ac.jp

原稿の種別と字数

● 会長メッセージ

NMR学会会長からのメッセージ。2000字以内、1頁。

● 巻頭エッセイ

主にNMR討論会特別講演者の講演要旨。NMR討論会やNMR学会との関わりなどについて自由に書いてもらう。NMR討論会の要旨と共通であってもよいとする。2000字—4000字 1—2頁（図表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● 解説

あるテーマについて著者の成果を中心にしてそのテーマの分野の現状を専門外の読者にも分かりやすく解説する。8000字—16000字 4—8頁（図、表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● トピックス

2年以内に発展した新しいNMRの展開について解説したミニレビュー。4000—8000字 2—4頁（図、表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● 研究報告

投稿者（一般会員）と共著者で行ったNMRに関するオリジナル研究報告。6000—12000字 3—6頁（図、表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● NMR基礎講座

主にNMR討論会のチュートリアル講演者等によるNMRの基礎についての解説。4000—10000字 2—5頁（図、表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● 技術レポート

NMRの装置や測定方法の開発を解説したレポート。4000—8000字 2—4頁（図、表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● NMR便利帳

一般会員がNMR実験に関して便利と思われる装置（ハード）や実験方法・解析（ソフト）の工夫、その他、最近とくに取り組みがさかんになりつつある研究上の安全衛生（磁場、高気圧、高電圧、酸欠、毒物劇物）などについて便利な点を分かりやすく解説する。4000—6000字 2—3頁（図、表を含む）。簡単な履歴と顔写真を提出してください。

● 海外学会参加報告

若手研究者渡航費助成金受領者は必ず寄稿してください。現状でもニュースレターに報告

することが義務付けられているので、この原稿が学会誌にも掲載されます。さらに、一般会員が参加した海外学会報告の寄稿を歓迎します。 2000-4000字 1-2頁 (図、表を含む)。

● NMR研究室便り

主にNMRを使って研究を行っている大学や公的機関、企業の開発室が構成員、研究テーマ、特徴など、研究室の内容を紹介する。 2000-6000字 1-3頁 (図、表を含む)。

●若手NMR研究会だより

若手NMR研究会の主催者による研究会報告、参加者の報告、講演者の要旨の寄稿を歓迎いたします。 4000-8000字 2-4頁 (図、表を含む)。

原稿のフォーマット

- ◇ 表題は14ポイント、テキストは12ポイントで日本語は明朝体、英語はTimesのフォントで書いて、doc, あるいはdocxファイルで提出してください。
- ◇ テキストは表題、所属、本文、文献、表、図の順番にして提出してください。
- ◇ 巻頭エッセイ、解説、トピックス、研究報告、NMR基礎講座、技術レポート、NMR便利帳の著者は略歴と顔写真のファイルを提出してください。
- ◇ 図はTIF, JPG, PDFファイルで600dpi以上の解像度で作成し、提出してください。
- ◇ 図と表には番号を付けて説明を記入してください。
- ◇ 文献は
 - 1) Javkhlantugs, N., Naito, A., and Ueda, K., (2011) Molecular dynamics simulation of bonbolitin II in the dipalmitoylphosphatidylcholine membrane bilayer. *Biophys. J.* **101**, 1212-1220.
 - 2) 内藤 晶 (2011) 光センサータンパク質の情報伝達機能. 化学 **66**, 68-69.
 - 3) Saito, H., Ando, I, and Naito, A. (2006) Solid State NMR Spectroscopy for Biopolymers. Principles and Applications. pp. 1-464, Springer, Dordrecht.を参考にして記入してください。